

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公開番号】特開2010-46540(P2010-46540A)
 【公開日】平成22年3月4日(2010.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報2010-009
 【出願番号】特願2009-273986(P2009-273986)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月14日(2011.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開始条件が成立したことに基づいて各々が識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記可変表示装置の前記識別情報の表示結果が予め定められた特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記開始条件が成立したことに基づいて、前記特定遊技状態に制御するか否かを前記表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

前記事前決定手段の決定結果に基づいて、前記特定遊技状態に制御される場合に前記特定遊技状態に制御されない場合に比べて高い割合で予告演出を実行する決定を行う予告演出決定手段と、

前記予告演出決定手段の決定結果に基づいて前記予告演出を実行する予告演出実行手段と、

を備え、

前記予告演出決定手段は、

前記事前決定手段の決定結果に基づいて、複数の予告演出パターンが属するグループであって、同じ演出態様を含む予告演出パターンのグループ毎に区分けされた予告演出パターン種別を、択一的にいずれかに決定する予告演出パターン種別決定手段と、

前記予告演出実行手段が実行する予告演出を指定する予告演出パターンを、前記予告演出パターン種別決定手段により決定された予告演出パターン種別に属する予告演出パターンの中から決定する予告演出パターン決定手段と、

前記予告演出パターン種別を決定するための予告演出パターン種別決定用数値と、前記予告演出パターンを決定するための予告演出パターン決定用数値とを抽出する抽出手段と、をさらに備え、

前記予告演出パターン種別決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン種別決定用数値を用いて前記予告演出パターン種別を択一的に決定し、

前記予告演出パターン決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン決定用数値を用いて前記予告演出パターンを決定し、

前記予告演出パターン種別決定手段は、前記事前決定手段の決定結果にかかわらず同一の前記予告演出パターン種別を決定可能であるとともに、前記事前決定手段の決定結果に

対応して異なる割合で前記予告演出パターン種別の決定を行い、

前記予告演出実行手段は、前記予告演出パターン種別決定手段により決定されなかった前記予告演出パターン種別に対応した演出態様を含む前記予告演出は実行せず、前記予告演出パターン種別決定手段により決定された前記予告演出パターン種別に対応した演出態様を含む前記予告演出を実行し、

一の前記予告演出パターン種別に属する前記予告演出パターンにより指定される前記予告演出と、他の前記予告演出パターン種別に属する前記予告演出パターンにより指定される前記予告演出と、には前記可変表示装置の同一の表示領域にて実行される前記予告演出が含まれる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、開始条件が成立したことに基づいて各々が識別可能な複数種類の識別情報（例えば、第１特別図柄、第２特別図柄、演出図柄）の可変表示を行い表示結果を導出表示する可変表示装置（第１特別図柄表示器８ａ、第２特別図柄表示器８ｂ、演出表示装置９）を備え、前記可変表示装置の前記識別情報の表示結果が予め定められた特定表示結果（例えば、大当り図柄）となったときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当り遊技状態）に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機１）であって、前記開始条件が成立したことに基づいて、前記特定遊技状態に制御するか否かを前記表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ６１の処理を実行する部分）と、前記事前決定手段の決定結果に基づいて、前記特定遊技状態に制御される場合に前記特定遊技状態に制御されない場合に比べて高い割合で予告演出を実行する決定を行う予告演出決定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ５３１～Ｓ５４９の処理を実行する部分）と、前記予告演出決定手段の決定結果に基づいて前記予告演出を実行する予告演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ８４６～Ｓ８５５の処理を実行する部分）と、を備え、前記予告演出決定手段は、前記事前決定手段の決定結果に基づいて、複数の予告演出パターンが属するグループであって、同じ演出態様を含む予告演出パターンのグループ毎に区分けされた予告演出パターン種別を、択一的にいずれかに決定する予告演出パターン種別決定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ５３１～Ｓ５３３、Ｓ５４０～Ｓ５４２の処理を実行する部分）と、前記予告演出実行手段が実行する予告演出を指定する予告演出パターンを、前記予告演出パターン種別決定手段により決定された予告演出パターン種別に属する予告演出パターンの中から決定する予告演出パターン決定手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ５３６～Ｓ５３８、Ｓ５４４～Ｓ５４６の処理を実行する部分）と、前記予告演出パターン種別を決定するための予告演出パターン種別決定用数値と、前記予告演出パターンを決定するための予告演出パターン決定用数値とを抽出する抽出手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ１００におけるステップＳ５３２、Ｓ５３７、Ｓ５４１、Ｓ５４５、Ｓ５７２、Ｓ５７３、Ｓ５７５、Ｓ５７６、Ｓ５７８～Ｓ５８１の処理を実行する部分）と、をさらに備え、前記予告演出パターン種別決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン種別決定用数値を用いて前記予告演出パターン種別を択一的に決定し、前記予告演出パターン決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン決定用数値を用いて前記予告演出パターンを決定し、前記予告演出パターン種別決定手段は、前記事前決定手段の決定結果にかかわらず同一の前記予告演出パターン種別（例えば、ボタン予告、ステップアップ予告、他系統予告、または、可動物第１予告、可動物第２予告）を決定可能であると

ともに、前記事前決定手段の決定結果に対応して異なる割合で前記予告演出パターン種別の決定を行い（液晶予告演出パターン種別判定テーブル及び可動物予告演出パターン種別判定テーブルにおいて、可変表示結果が大当たりであるかはずれであるかによって判定値の割り振りが異なる）、前記予告演出実行手段は、前記予告演出パターン種別決定手段により決定されなかった前記予告演出パターン種別に対応した演出態様を含む前記予告演出は実行せず、前記予告演出パターン種別決定手段により決定された前記予告演出パターン種別に対応した演出態様を含む前記予告演出を実行し（例えば、液晶予告の場合は、ボタン予告、ステップアップ予告、他系統予告のうちいずれかのみを実行する。また、可動物予告の場合は、可動物第1予告、可動物第2予告のうちいずれかのみを実行する）、一の前記予告演出パターン種別に属する前記予告演出パターンにより指定される前記予告演出と、他の前記予告演出パターン種別に属する前記予告演出パターンにより指定される前記予告演出と、には前記可変表示装置の同一の表示領域にて実行される前記予告演出が含まれることを特徴とする。

このような構成によれば、予告演出パターンを2段階で決定するので、予告演出パターン種別及び予告演出パターンの増加や出現率の調整が容易になり、予告演出の多種多様化を容易に実現させることができる。